

様式②

日本呼吸器外科学会雑誌 利益相反自己申告書

日本呼吸器外科学会は研究成果の公表と普及あるいは啓発活動において、公明性、透明性、独立性を堅持し社会的責務を果たすために、論文・学術図書の公表に際しては、全ての著者において、利益相反事項がある場合はこれを開示する旨の指針を出しています。日本呼吸器外科学会の利益相反に関する指針は、日本呼吸器外科学会 HP会員専用ページ <https://center6.umin.ac.jp/oasis/jacs/coi/riekisouhan.pdf> をご参照ください。

発表内容に関する利益相反状態を投稿時点の前年より過去3年間分、各著者全員記載してください。各項目にチェックの上、下記にご記入・ご署名ください。

※筆頭著者・共著者全員1人につき3枚(投稿時点の前年より過去3年間分)ご提出ください。

(例: 申告日が2017年5月19日の場合、2014年、2015年、2016年の利益相反自己申告書をご提出ください。)

※著者名の欄には筆頭著者・共著者全員のご氏名をご記入ください。

著者名:

論文題名:

署名: _____ 印 (会員番号: _____)

申告日: 年 月 日 (申告期間: 年 1 月 1 日 ~ 年 12 月 31 日)

該 当 項 目	該当事項の有無	有る場合の企業・団体名
① 報酬額 (1つの企業・団体から年間100万円以上)	有 ・ 無	
② 株式の利益 (1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有)	有 ・ 無	
③ 特許使用料 (1つにつき年間100万円以上)	有 ・ 無	
④ 講演料 (1つの企業・団体からの年間合計50万円以上)	有 ・ 無	
⑤ 原稿料 (1つの企業・団体から年間合計50万円以上)	有 ・ 無	
⑥ 研究費・助成金などの総額 (1つの企業・団体から、医学系研究(共同研究、受託研究、治験など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑦ 奨学(奨励)寄附などの総額 (1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する所属部局(講座、分野あるいは研究室など)に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑧ 企業などが提供する寄附講座 (実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑨ 旅費、贈答品などの受領 (1つの企業・団体から年間5万円以上)	有 ・ 無	

(本 COI 申告書は論文掲載後所定の期間保管されます)